

 <p>外国語教育メディア学会 九州・沖縄支部だより</p>	<p>第71号 (2019年5月1日) LET九州・沖縄支部事務局発行 〒862-8680 熊本市中央区大江2-5-1 熊本学園大学 研究棟302号 林幸代研究室 TEL: 096-366-3230(代表) E-mail: secretariat@j-LET-ko.org 編集: 大下晴美・竹野茂・事務局</p>
---	---

第48回(2019年度)九州・沖縄支部研究大会のご案内

大会実行委員長 島谷 浩 (熊本大学)



(上写真: 熊本大学教育学部)

第48回支部研究大会は、2019年(令和元年)6月1日(土)に熊本大学教育学部において開催されます。熊本での支部大会の開催は、2002年(平成14年)に熊本学園大学で開催された第34回支部大会以来17年ぶりで、熊本大学での開催は1981年(昭和56年)の第16回支部大会以来38年ぶりとなります。

今大会のテーマは、「音声言語として英語をどのように教えるのか—Generation Zに向けた新たなアプローチ」です。来年度よ

り導入される次期学習指導要領では、現行の学習指導要領の取り組みを発展させ、コミュニケーション能力のさらなる向上を目指しています。今大会ではコミュニケーションを狭義に捉え、音声言語としての英語を中心に取りあげました。コミュニケーション活動というと、次期学習指導要領のキーワードである「主体的・対話的で深い学び」を実践する活動が目指されますが、その活動の背後にある日本人学習者の音声言語の理解や産出の特徴もおろそかにすることはできません。また Generation Z(Z世代: 生まれたとき、または、物心がつく頃にはインターネットなどが普及していた環境で育った世代)に向けたアプローチとして、音声学的な側面から実践的な活動に至る幅広い話題を横断的に探索します。指導対象となる児童・生徒・学生がすべてZ世代になった現在、理論的・実践的観点から、

小学校・中学校・高等学校・大学で一貫性のある英語指導のあり方について実りある議論の場をご提供することを目指しております。

午前中のワークショップでは、高田実里先生（熊本大学教育学部附属小学校）を講師にお迎えし、「子どもが思いや考えを伝え合うおもしろさを実感する外国語学習」というテーマで講習を行っていただきます。来年度からの次期学習指導要領の導入により、小学校での外国語（英語）が教科になりますが、熊本市ではすでに昨年度より教科化が先行実施されております。「コミュニケーションのおもしろさを実感する外国語学習」を研究テーマとして実践的な研究を行っておられ、附属小での実践についてご紹介いただくことになっています。当日参加も可能ですので、多くの方々にご参加いただけますと幸いです。

午後の講演では、菅井康祐先生（近畿大学）にご登壇いただき「日本語母語話者は英語をどのように聞いているのか：ボトムアップ処理と音読の役割」というタイトルでお話しいたします。日本人学習者の音声言語の理解や産出について専門的な考察を学ぶことができる絶好の機会になるはずです。

午後後半のシンポジウムでは、「音声言語として英語をどのように教えるのか—Generation Zに向けた新たなアプローチ」というテーマに対して園田恭大先生（熊本市立北部東小学校）、宮本英明先生（真和高

等学校）、米岡ジュリ先生（熊本学園大学）に、パネリストとしてそれぞれのお立場から授業実践や問題点などを発表していただきます。園田先生は、現在小学校長を務められていますが、中学校で校長を務められ、市教委指導課で勤務された経験もあり、小学校、中学校、そして行政の立場からご意見を述べていただきます。また米岡先生には、シンポジウムのコーディネーターも兼務していただきます。

大会終了後の情報交換会は、教育学部本館から徒歩1分の距離にある学内福利施設くすの木会館食堂で開かれます。会費4,000円（学生は半額）で、熊本の美味しい郷土料理も楽しむことができます。講師の先生方や、展示協賛していただいた賛助会員の方々にもご参加いただく予定ですので、リラックスして交流の輪を広げていただきたいと思います。



（上写真：熊本大学五高記念館）

平成28年の熊本地震から3年が経過しました。熊本は創造的復興を目指し大きく変わりつつありますが、まだまだ復旧工事は続き、被災した家の再建が困難な方が多くおられます。国指定重要文化財でもある

旧制第五高等学校の校舎（熊本大学五高記念館）の写真をプログラムに載せておりますが、震災からの復旧・耐震工事中で、残念ながら囲いに覆われて見ることはできません。しかし、第五高等学校で教鞭をとったラフカディオ・ハーン（小泉八雲）のレリーフや夏目漱石の銅像などの歴史的記念物を黒髪北キャンパス内で見ることができます。また、今年のNHK大河ドラマ『いだてん～東京オリムピック噺～』の主人公である金栗四三さんが学んだ東京高等師範学校の嘉納治五郎校長の石碑が体育館前にあります。

嘉納先生は1891年（明治24年）から1893年（明治26年）まで、第五高等学校の第3代校長を務められました。ドラマで嘉納治五郎ファンになられた方は、どうぞ探してみてください。

大会まであと1か月となりましたが、令和の幕開けにふさわしい有意義な大会となるよう引き続き準備を進めてまいります。一人でも多くの方々のご参加を、大会実行委員一同お待ち申し上げます。

ワークショップに参加して

筒井英一郎（北九州市立大学）



2019年1月12日（土）15:30-17:00、福岡大学において、田中十督先生（西南学院中学校・高等学校）による「どんな教材でも4

技能と高次元思考の英語授業に出来る！：CLIL 授業の実践と授業デザイン」と題されたワークショップに参加しました。

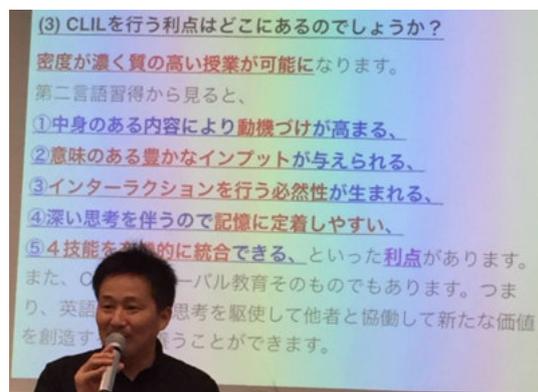


諸々の社会問題や時事問題に触れながら言語学習・言語活動に主眼を置いた Soft CLIL

(池田, 2011) の実践例が示され、ワークショップ全体を通して、何を教材にするのか？何を題材とするのか？どう生徒・学生の Output や Interaction を促すか？などに焦点が当てられていました。教室内で CLIL 文化が育まれているのがよくわかる活きた授業モデルが示される形となっており、参加者は明日にでも応用可能な知見が得られたのではないかと思います。



参加者同士の意見交換や議論が活発になされていたのがとても印象的で、質疑応答で少し時間を延長することとなり、本ワークショップは盛況のうちに終了しました。



LET2018 年度理事会報告

副支部長 植田正暢（北九州市立大学）

※お断り：通常でしたら理事会報告は前号にてご報告すべき事項ですが、本部より理事会議事録が配信されるのが遅かったため年度をまたぐこととなりました。

2018 年度 LET 全国大会初日である 2018 年 8 月 7 日 (火) 13:00 より 16:00 まで、千里ライフサイエンスセンター（大阪府豊中市）にて 30 名中 24 名の出席をもって理事

会が開催されました。柳善和会長のあいさつの後、2019 年度全国研究大会開催支部長である見上理事が議長を務めることが全会一致で了承されました。以下、理事会で審議・報告された議案について報告します。

【審議事項】

1. FLEAT VII の開催について（関西支部から）
FLEAT VII 大会委員長である小野委員長

(陪席) より説明があり , Language Learning with Technology Facing the Future (仮) という大会テーマで 2019 年 8 月 6 日から 9 日に早稲田大学早稲田キャンパスにて行われる予定であることなどが報告されました。発表資格を LET, IALLT 会員以外にも与えるかどうかを審議され、承認されました。参加費 (懇親会費を除く) について、LET, IALLT 会員と非会員を別々に設定することとし、具体的な金額については大会委員会にて検討することになりました。賛助会員については展示料を非会員の展示と差をつけることが決まりました。

2. 支部提案事項 (1) : 名誉会長推薦について (関西支部より)

前会長の竹内理氏を名誉会長に推薦することについて理事会で賛同が得られ、総会で提案し、承認を求めることになりました。(翌 8 日の総会で竹内氏が名誉会長になることが承認されました。)

3. 支部提案事項 (2) : 名誉会長推薦・承認プロセスについて (関西支部より)

会長経験者の名誉会長への推薦プロセスを明確にする提案について関西支部事務局長より説明がありました。会長経験者の支部運営への関わりについて事例の報告や意見があり、全国レベルでの委員や理事に就任しないこと、本部が発議すること、取消についての規定などを再度検討の上で申し合わせを作ることになりました。

4. 2017 年度本部事業報告 (本部事務局より)

5. 2017 年度本部決算報告 (案) (本部会計より)

本部事務局より 2017 年度事業報告ならびに決算報告がありました。法人化準備積立金よりの組み込みについての記載方法などについての質疑を経て、承認されました。次回より積立金別表が添えられることになりました。

6. 2018 年度本部事業計画 (本部事務局より)

7. 2018 年度本部予算 (案) (本部会計より)

本部事務局より事業計画に沿った支出を行うための収入が不足していることが説明されました。小山理事より動議があり、研究大会参加費の徴収や会費値上げなどの収入を増やす方法を企画することが提案されました。理事会にて賛同が得られたため、会長提案として、今後、会長を中心に各支部からの委員による委員会を組織して検討することになりました。本部財政が赤字であることは総会でも報告されることに決まりました。

8. 2020 年度全国大会の日程変更および会場について (九州・沖縄支部より)

2020 年度全国研究大会の日程について、祝日の変更を受けて、2017 年度理事会で承認済みの 10 月から 9 月 19 日から 21 日に変更することが提案され、承認されました。会場は北九州市立大学北方キャンパスで行われることになりました。[報告者注 : その後、諸般の事情で会場は北九州市立大学北

方キャンパスから同大学ひびきのキャンパスに変更される予定です。]

【報告事項】

<本部報告>

1. 2018 年度各支部選出役員表

2. 2018 年度正会員数

3. 2018 年度賛助会員

各支部からの選出された役員および会員数が報告されました。会員数は 2018 年 8 月 4 日現在で 1,365 名（個人会員 1,151 名，学生会員 122 名，団体会員 55 名，賛助会員 37 名）であること報告されました。

4. 学会機関誌第 55 号の発行について

発行経費を節約するために作成作業の一部を本部で行い，その上で従来通りの冊子体で発行することが説明されました。

5. ブログサイト（旧メルマガ）の移転について

ブログサイトの機能の見直しと経費削減のため，サイトを移転する準備をしていることが報告されました。

6. Newsletter 99 号の発行について

99 号の内容の予定について報告され，印刷経費削減のため 98 号と同様にオンライン版のみの発行とし，J-Stage への掲載申請を行うことが説明されました。

7. 関連学会との提携について

関連学会との連携の一環として，教育関連

学会連絡協議会および言語系学会連合に所属し，年会費を支払っていることが説明されました。

8. 学会賞選考について

学会賞委員会での本年度学会賞対象の推薦が遅れていることが報告されました。学会賞については後日，メール審議とすることに決まりました。

9. あゆみコーポレーションとの打ち合わせについて（本部事務局より）

会費徴収業務を委託しているあゆみコーポレーションとの連絡打ち合わせを 6 月 8 日に行い，今年度の委託業務内容の確認をするとともに，各支部事務局からのクレーム・要望を伝え，相互理解に努めたことが報告されました。あゆみコーポレーション側からは週末や祝日等の休業日において会員サポート業務が行われないことについて理解を求められ，会員に休業日について必要に応じて知らせることとなりました。

<各種委員会からの報告>

1. メルマガ編集委員会

毎月の LET ブログ発行について本部事務局より報告がありました。準備中の新ブログサイトには年度内に移行することが報告されました。

2. 国際交流員会

2018 年度全国研究大会での IALLT 会員に

よる発表申し込みの経緯と 2019 年度の FLEAT VII 実行委員会への支援について報告がありました。

3. 機関誌編集委員会

編集規程の一部が改訂されたことが報告されました。改訂は、編集委員・査読委員・編集委員長それぞれの役割と権限をより明確にするために行われたことが説明され、次号は改訂に基づいて募集が行われます。

<各支部報告>

1. 2017 年度各支部事業報告・決算報告および 2018 年度各支部事業計画・予算について各支部より 2017 年度の事業報告・決算ならびに 2018 年度の事業計画・予算が報告されました。

2. 第 57 回 (2017 年度) 全国研究大会決算報告
中部支部より 2017 年度全国研究大会の決算が報告されました。

3. 第 59 回 (2019 年度) 全国研究大会・FLEAT VII 進捗状況

(審議事項に含めて報告済み)

4. 2019 年度以降の全国大会開催予定について
2019 年度以降, 2024 年度までの全国大会担当支部について確認が行われました。九州・沖縄支部は 2020 年度に開催予定の第 60 回大会を担当します。

<ネット稟議追認事項>

1. 協賛について

理事会メール稟議済みの SSU3 国際学会 (2019 年 10 月) への協賛について報告がありました。

以上。

事務局からのお知らせ

【新会員 (2019 年 4 月 15 日現在)】

<正会員>

石井 英里子 (鹿児島県立短期大学)

坂口 寛子 (香住丘高等学校)

【第 48 回支部研究大会】

第 48 回支部大会を以下のように計画中です。

開催日: 2019 年 6 月 1 日 (土)

場 所: 熊本大学

大会テーマ：音声言語として英語をどのように教えるのか—Generation Z に向けた新たなアプローチ

資料代：会員 無料,
非会員(一般 1,000 円, 学生 500 円)

【FLEAT VII】

LET と米 IALLT の合同で開催する FLEAT VII が以下の日程で開催されます。(第 59 回 LET 全国大会を兼ねています。)

日時：2019 年 8 月 6 日(火) ～ 9 日(金)

会場：早稲田大学

【会費納入のお願い】

2019 年度の会費振り込みのお願いが、登録住所宛に送付されていると思います。まだお振り込みいただいていない会員の方は、お早めにお振り込みいただきますようお願いいたします(個人会員・団体会員は 6,000 円, 学生会員は 3,000 円)。未納の状態が続く場合には支部からの発送物を停止させて

いただく場合がございます。支部の円滑な運営の為にもご協力お願いいたします。なお住所・所属等に変更が生じた場合には、学会本部の HP より変更していただきますようお願い申し上げます。

【LET ホームページ】

<LET 本部> <http://www.j-let.org/>

<LET 九州・沖縄支部>

<http://www.j-let-ko.org/>

【LET 九州・沖縄支部事務局】

4 月より事務局が新住所となっております。ご登録情報等の更新をお願いいたします。

〒862-8680

熊本市中央区大江 2 丁目 5-1 研究棟 302 号

熊本学園大学 林 幸代 研究室内

(096)366-3230 (代表)

編集後記

元号も新しくなりこの支部だよりも通算 71 号、令和になって 1 号となります。この数字のマジック、偶然なのでしょう。

そんな話はさておき、6 月の熊本大学での

支部研究大会、8 月の早稲田大学での FLEAT VII で会員の皆様とお会いできることを楽しみにしております。(茂)